

駐輪場 要求水準

次の事項は、事業者が提案する駐輪場に関して市が要求するサービスの水準を示し、応募者の提案に具体的な指針を与えるものです。

応募者は、本書に示されている要求水準を満たす限りにおいて、自由に提案を行うことができます。

区分	No.	チェック	要求項目	要求水準
駐輪台数	1	<input type="checkbox"/>	駐車台数の確保	自転車1,630台、原付(125cc未満)230台程度を確保すること なお、自転車と原付の駐車場所は区分すること
防犯性	1	<input type="checkbox"/>	防犯カメラの設置	施設内に死角の無いように配置すること。また、防犯カメラが設置されている旨の表示をすること
	2	<input type="checkbox"/>	場内放送設備(注意放送用)の設置	各フロアーに1個程度設置すること
	3	<input type="checkbox"/>	非常通報装置の設置	各フロアーに1個程度設置すること
安全性	1	<input type="checkbox"/>	自転車の転倒防止策の構築	サイクルラック(着脱が容易なもの)等、自転車が横倒れにならないような対策を講じること
	2	<input type="checkbox"/>	ゆとりある通路の確保	自転車:幅員1.5m以上、原付:幅員1.8m以上を確保すること
	3	<input type="checkbox"/>	十分な駐輪間隔の確保	自転車:全幅600×全長1,900/原付:全幅840×全長2,000を確保すること ※1 但し、ラック利用の場合は幅等を縮小することができる
	4	<input type="checkbox"/>	利用及び管理上必要な照度の確保	平均水平面照度:100ルクス程度、斜路・階段50ルクス程度を確保すること (屋内自走式駐車場の場合)
	5	<input type="checkbox"/>	利用者の安全・誘導サイン表示の設置	利用者誘導看板、安全確保看板、利用案内看板を設置すること また、認知性の高い明快なデザインとし、利用者の見やすい位置に設置すること
	6	<input type="checkbox"/>	出入庫口の安全対策の構築	自転車と歩行者が交錯しない分離された経路を確保すること なお、出入り口の幅員は主線幅以上とすること
利便性	1	<input type="checkbox"/>	屋根の設置	
	2	<input type="checkbox"/>	管理人室への通話装置	各フロアーに1個程度設置すること
	3	<input type="checkbox"/>	24時間出入庫可能	24時間営業とし、常時連絡がとれる体制とすること
	4	<input type="checkbox"/>	空気入れ、簡易修理工具等の設備	利用者の日常の利便性向上として、必要最低限の器具が配置されていること
	5	<input type="checkbox"/>	定期券の導入	定期利用を可とすることにより手続きの簡素化と、放置自転車防止を図ること
	6	<input type="checkbox"/>	適切な利用者料金の設定	近隣駅有料駐輪場と均衡した料金とし、学割等の設定を行うこと (近隣の参考値:1回150~200円、定期2,000~3,000円)